

ぬまたプラオウやまほ

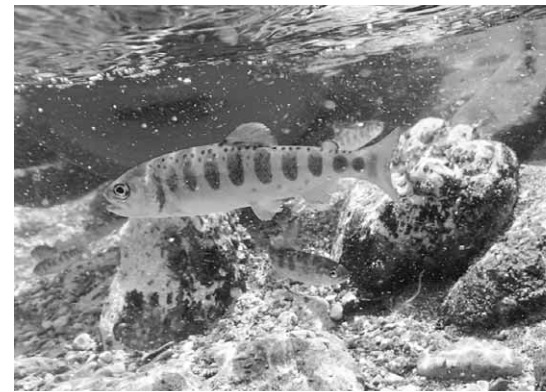


大きく育てね  
ふるさとの魚放流促進事業

6月4日(木)

利根漁業協同組合の協力により、市内4つの小学校が参加して行われた今年の放流促進事業。利根西小学校では5年生9人が参加し、利根町栗原川におよそ2,000匹のヤマメの稚魚を放流しました。

児童一人一人の手によって丁寧に放たれたヤマメは、栗原川の清らかな流れの中で心地良さそうに泳いでいました。



赤やピンクがお出迎え  
老神温泉ポピーまつり

6月6日(土)・7日(日)

老神温泉の入り口で、2日間ポピーまつりが開催されました。

地元野菜の販売などが行われたまつり会場は、老神温泉を訪れた観光客らでにぎわいました。

会場近くの畑には、赤やピンクのポピーおよそ40万本が花を咲かせ、一面の花畑をバックに多くの人々が足を止めて、記念撮影などを楽しんでいました。

上州の祭りを全国に発信  
上州三大祇園祭復活祭

6月14日(日)

上州の祭りを全国に発信して群馬の文化を元気にしようと、沼田祇園祭と世良田祇園祭(太田市)、大間々祇園祭(みどり市)の関係者が県庁県民ホールに一堂に会し、復活祭が行われました。

開会セレモニー終了後、それぞれの地域で伝承されている祇園囃子が演奏され、各市のブースではチラシや写真で祭りの歴史をPR。来場者は、一足早い夏祭りの雰囲気を楽しみました。



市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

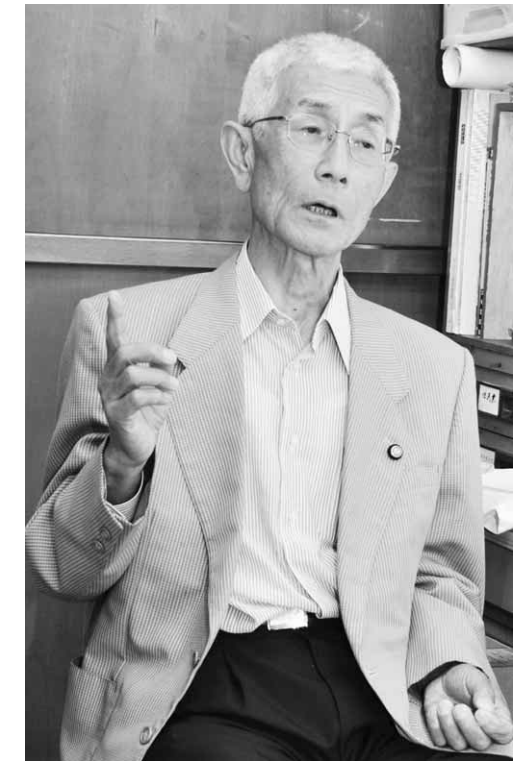
YOROZU  
よろずとーく 98  
TALK

沼田市市民構想会議会長  
(沼田市区長会会長)

小幡 普さん  
(上原町)

Susumu Obata

「まちづくり」は小さなことの積み重ねが大切だと思います



「この年になって会長なんて恐ろしいと思っていますが、県の職員として長年勤めてきた経験を生かしていきたいですね」  
温かな表情でそう話すのは、本年度設置された沼田市市民構想会議の会長に就任した小幡さん。この会議は、コミュニティ、福祉・教育、産業など各団体の代表25人と公募で選ばれた11人の計36人の委員で構成。沼田市の将来のまちづくりについて議論し、市へ提言する重要な役割を担っていく。  
「責任は重大ですが、断れないのが私の性格。区長になる前は仕事をしていたので、地域の役職は断ってきました。退職後に



第1回会議であいさつする小幡さん

妻から「役職を引き受けたら」と言われたのがきっかけで町の要職に就き、現在は上原町区長、市区長会長、そして市が良くなるのであればと思い構想会議の会長も受けました」  
小幡さんが役職を引き受けるのは、おとし亡くなった奥さんの言葉が後押ししていた。  
引き受けたからには、気を引き締めて会議に臨みたいと話す。  
「消滅可能性都市に沼田市も入るそうですね。そうならないためにも、まちづくりはしっかりとやらねばなりません。市街地再開発、都市交流、観光など、今後の会議はテーマ別の委員会も計画しているので、委員の皆さんの意見を幅広く聞いていきたいですね。いっぺんに課題を解決することは難しいですが、小さなことの積み重ねが大切だと思います」

消防団員紹介 No.2

地域の守り手として活躍する消防団員の皆さんをご紹介します。

沼田市消防団では多くの入団希望者を募集しています。

問い合わせ 沼田市消防団本部(防災対策課 消防係内)☎内線3363へ

沼田市消防団第1分団第3部(榛名・清水・薄根町) 部長 中嶋秀行さん / 団員 塩島学さん



中嶋さん

塩島さん

部長の中嶋(建設業)です。地元の榛名・清水・薄根町の皆さんには、日頃から大変お世話になっております。火事場などに緊急出動する我々消防団員ですが、平常時は水利点検などをしながら団員同士で交流を深めています。今後ともよろしくお祈りします。

団員の塩島(金融業)です。地域のために活躍する消防団活動の中で、素晴らしい仲間たちと出会えました。